

あいさつ

全国連合小学校長会長 喜名 朝博

昨年度に引き続き、会長を務めます喜名朝博でございます。どうぞよろしく願いいたします。新型コロナウイルス感染症予防の観点から、今年度の総会は紙上での開催となりました。会員各位におかれましては、昨年度から継続して新型コロナウイルス対応にご尽力いただいております、心より敬意を表します。特にこの3月をもってご勇退された校長先生方は、教員生活最後の1ヶ月が臨時休校と重なりました。危機管理の中で、ご自身の歩まれた道を振り返る余裕もなかったのではないのでしょうか。長い間お疲れ様でございました。そして、この4月にご昇任された新会員の皆様におかれましても、着任のその日から危機管理が続き、息つく暇もなかったことと思います。全国1万9千の会員と共にこの難局を乗り越えてまいりましょう。

新型コロナウイルスの危機管理は、これまでに学校が経験したことの無い先が見えないものです。それでも、我々は様々に情報を得ながら、子どもたちと教職員の安全を最優先に判断し、行動してきました。特に3月の一斉臨時休業は、学校の在り方について改めて考える契機になりました。教室に子どもがいない中で、どのように子どもたちの心身の健康状態を把握し、学ぶ権利を保障していくかを考え、可能な限りの創意工夫をしてきました。ここでは、学校も含めた社会全体のICT環境の脆弱さを再認識することとなりました。このことについて文部科学省も補正予算によって、GIGAスクール構想の前倒しを進めているところです。環境整備と並行して我々が行うべきは、授業や家庭学習と連動させたICT活用方法の確立です。秋冬に向かい、再度の臨時休業も想定され、それまでに家庭に居ながらも教室と変わらない教育が保障される仕組みを作っておかなければなりません。

また、新しい生活様式を基本とする学校運営、授業の在り方については、我々の教育観の大転換が求められています。これまで当たり前に行っていたグループ学習や隣の子と話し合うといった学習活動も難しくなります。そもそも学校は、密閉・密集・密接が前提です。この前提が崩れることは、子どもたちにとっても大きなストレスとなるはずで、子どもたちの健康を第一に考えつつも、精神的安定についてもアンテナを高くし、安心できる学級、学校を作っていくことが必要です。このことは、教職員も同じです。授業観の転換やICT活用といった変化に対応できない教職員も出てくるはずで、そんな教職員のメンタルヘルスを保持し、モチベーションを高めていかなければなりません。そのためにも、組織としてこの難局に立ち向かい、ともに新しい学校の姿を創造していくことで同僚性が高まり、教職員のもてる力を発揮させることができるのではないかと考えます。

新しい学校の姿を創っていくことが今年度の大命題ですが、それは校長会も同様です。10月に開催される第72回全国連合小学校長会研究協議会京都大会は紙上発表の形を取ることとなりました。各地区で開催予定の地区大会も参集による大会は行わないことになり

ました。完全な終息の見通しはなく、収束と流行を繰り返しながら新型コロナウイルスと共存していくことを想定すると、これからの校長会の研究の在り方、その共有の方法についても検討していかなければなりません。ただ、職能団体としての本会の研究活動を止めるようなことがあってはなりません。このような難局であるからこそ、我々校長の創造力とリーダーシップによる日々の実践を研究にまで昇華し、蓄積し、共有していくことが重要です。そして、この知見を基に積極的に施策等への提言をしていくことが本会の存在意義でもあります。5月14日、全国連合小学校長会は、文部科学省初等中等教育局長宛に要望書「新型コロナウイルス感染防止のための新しい行動様式に対応した諸条件の整備、並びに、子どもたちの学力保障のための教育課程の特例措置等に関わる要望」及び、意見書「9月入学・始業の導入に関わる意見書」を提出いたしました。なお、意見書については、秋季入学制度検討ワーキングチーム座長宛にも提出いたしました。今後も時宜を得た意見表明を心がけていきたいと思っております。

積極的な意見表明や提言を行うためには、その基となるデータの集約や各地区の状況把握が必須となります。そのために、今年度も対策部及び調査研究部の各委員会による調査依頼、三地区対策・調研担当者連絡協議会の活動を予定しています。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。また、今年度の活動方針につきましては、昨年度の常任理事会を経てご提案しているところでございますが、現状に鑑み、別添の通り「新型コロナウイルス対応下の全国連合小学校長会活動について」として新たに5点の活動方針を追加しておりますのでご了解ください。さらに、第234回理事会でもご案内いたしましたように、令和4年度からの負担金改正に向け、今年度中に常任理事会において中にその詳細を決定してまいります。今後の理事会等で逐次ご説明してまいりますので、このことにつきましても理解をお願いいたします。

危機管理は最悪を想定することから始まると言われます。現在の感染の状況だけで判断するのではなく、第二波、第三波があることも想定しながら、子どもたちと教職員の生命を守るために感染予防と体制作りに努めていくことが我々校長の職責です。全国連合小学校長会は、この職責を果たすために必要な情報の収集・発信・共有に努めてまいります。今年度の全国連合小学校長会の活動につきまして、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。